

こんなカミキリムシ見たことありませんか？ ～ツヤハダゴマダラカミキリを探しています～

長野県林業総合センター 育林部

■背景と課題

- 2023年夏、佐久市で特定外来生物のツヤハダゴマダラカミキリ(ツヤハダ)の被害木と成虫の羽化を県内初確認
- 県内での被害分布状況、被害樹種、ツヤハダ生活史の詳細が不明

■ぜひ情報を!!

県内での発生情報が必要なため、ツヤハダ成虫の捕獲や被害木の疑い情報がありましたら、ご連絡ください。
ツヤハダ連絡フォーム→



被害木の見つけ方

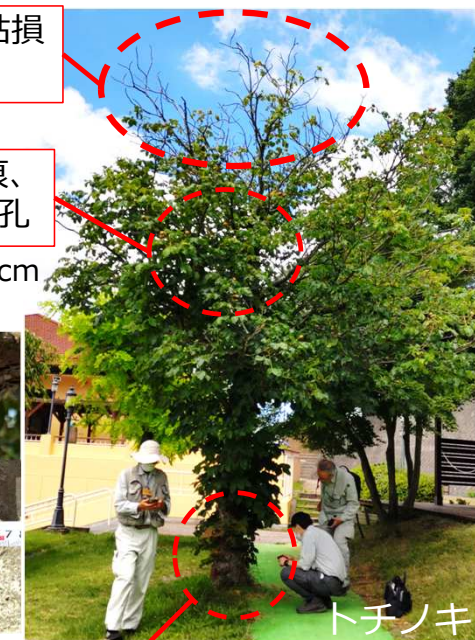
樹冠や枝が部分枯損
全体的に衰弱

一円玉大の産卵痕、
直径約8mmの脱出孔

産卵痕は直径5～10cm
の枝に多い



根元に幼虫の糞など
(繊維状のフラス)が堆積



成虫の見分け方

ツヤハダゴマダラカミキリ



ゴマダラカミキリ (在来種)



ツヤハダの特徴（国内ではまだ不明なことが多い）

- 原産は中国から朝鮮半島、国内では九州から東北で確認
- 国内の加害樹種はヤナギ、ニレ、カツラ、トチノキなど多くの広葉樹
- 成虫の羽化脱出時期は5～9月（長野県では9月の記録あり）
- 野外個体の飛翔分散距離は約20～30m/日、個体群の自然分散は約100m/年とされる

※被害木は地上部から見えにくい樹冠上部で部分枯損すること、ツヤハダは在来種のゴマダラカミキリと似ていることから、被害の発生を見落としやすい。

連絡先：長野県林業総合センター 育林部 柳澤（担当）

Tel 0263-52-0600

E-mail yanagisawa-kenichi-r@pref.nagano.lg.jp